



JASDAQ

2020年9月29日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 榊沢 徹
(コード番号：6838 東証 JASDAQ)
問合せ先 経営企画部 田中 竜太
(TEL. 03-6435-6933)

第9回新株予約権の資金使途変更に関するお知らせ

当社は、2019年1月25日付「第三者割当による第9回新株予約権の発行に関するお知らせ」(以下「第9回発行のお知らせ」といいます。)及び2020年8月27日付「第9回新株予約権の資金使途変更に関するお知らせ」(以下「第9回資金使途変更のお知らせ」といいます。)にて開示いたしました、第三者割当による第9回新株予約権(以下「第9回新株予約権」といいます。)の発行及びその行使により調達した資金の使途について、下記のとおり変更(以下「本件変更」といいます。)することといたしましたので、お知らせします。

1. 変更の理由・経緯

第9回新株予約権は、第9回発行のお知らせにおいて開示しましたとおり、当社グループ(当社及び当社の関係会社)の主たる業務である再生可能エネルギー事業のうち、風力発電事業において、①当社が小型風力発電所複数基毎に、原則として同発電所事業を運営する子会社(以下「SPC」といいます。)1社を設立すること、②SPCが小型風力発電所事業に関する投資総額のうち20%から40%までの範囲で出資による資金を調達し、投資総額の残部をリース会社等金融機関からの資金の借入により調達すること、③SPCがAURA-Green Energy株式会社が保有する風力発電の売電の権利を購入して小型風力発電所を建設し売電事業を行うことにより、当社として収益性のある小型風力発電事業を行うことができるものと判断し、そのSPCに対する出資金を資金使途として発行したものです。

また、第9回資金使途変更のお知らせのとおり、小型風力発電所の開発において、権利取得時に採用を想定していた小型風力発電機器メーカー内部の紛争により、購入手続きが開始前に保留となり、紛争の解決が長引くことが想定されたため、権利取得した全ての発電所で当社が他社メーカーへの機種変更を行うことを2019年9月中旬に判断しました。このような機種変更を行ったことにより、現時点で機器の発注が出来ておらず、それに伴って小型風力発電所の建設工事に一部の遅延が生じておりました。

今後は小型風力発電所の建設の速度を上げ、建設基数を増やしていく予定であります。建設

の速度を上げていくためには、まずはSPCがまとまった風力機器を発注する必要があり、発注分の金額が必要となります。しかしながら、SPCに対する資金拠出方法が当初想定していた出資金による場合には、機器代金及び工事代金並びにリース会社等金融機関からの借入額が確定した段階でそれに応じて出資金の金額を確定させるものであることから、SPCによるリース会社等金融機関からの借入額が未定の段階で、SPCがまとまった風力機器を事前に発注するためには適していません。そこで、SPCによるリース会社等金融機関からの借入額が未定の段階で、風力機器等の代金を支払うためには、SPCに対して融資により資金を拠出する必要があります。そして、SPCによるリース会社等金融機関からの借入額の確定後に、金融機関等の必要性に応じてSPCが借入で調達した負債を出資に振り替えていく方針であります。

2. 変更の内容

上記記載の理由により、第9回使途変更のお知らせにおいて開示いたしました具体的な資金使途「小型風力発電所を建設し、売電事業を行う当社子会社への出資金」(下記①)につき、当社子会社への融資を追加し、「小型風力発電所を建設し、売電事業を行う当社子会社への融資または出資金」に変更いたします(下記②から④については、変更はありません。)。なお、変更部分には下線を付して表示しています。

変更前

具体的な使途	金額	支出(予定)時期
① 小型風力発電所を建設し、売電事業を行う当社子会社への出資金(当社子会社は、出資金を小型風力発電所の権利の取得及び建設に充当します。) なお、当社子会社は、原則として小型風力発電所複数基毎に1社設立する予定であり、現時点では、小型風力発電所を新規に52基~104基を見込んでおります。	376,122,280円	2020年8月31日から 2022年2月末まで
② 当社の連結子会社である株式会社多摩川エナジーが建設する岐阜県各務原市の太陽光発電所の一部建設費用としての設備投資資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、設備投資6,294,600円と運転資金103,705,400円に使用	110,000,000円	2019年8月29日から 2020年1月27日まで
③ 北海道根室市にて大型風力発電所を建設し売電事業を行うウインドパワードットコム株式会社(当社関連会社となります。)の株式及び債権のAURA-Green Energy株式会社からの買取りのための	90,123,720円	2019年11月15日から 2020年5月25日まで

具体的な使途	金額	支出（予定）時期
資金及び同社の風況調査代及び系統連系費用のための当社から同社への貸付：同社においては、株式及び債権の買取 45,000,000 円と風況調査代及び系統連系費用 45,123,720 円に使用		
④ 当社の連結子会社である株式会社 GP エナジー2 が保有する、長崎県五島市荒神岳太陽光発電所の約 500kw の増設に係る金融機関にリース料を支払うための資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、リース料 33,000,000 円と運転資金 50,000,000 円に使用	83,000,000 円	2020 年 1 月 27 日から 2020 年 4 月 27 日まで
合計	659,246,000 円	—

（注）具体的な資金使途の②から④は既に充当済みであります。

変更後

具体的な使途	金額	支出（予定）時期
① 小型風力発電所を建設し、売電事業を行う当社子会社への融資または出資金（当社子会社は、出資金を小型風力発電所の権利の取得及び建設に充当します。） なお、当社子会社は、原則として小型風力発電所複数基毎に 1 社設立する予定であり、現時点では、小型風力発電所を新規に 52 基～104 基を見込んでおります。	376,122,280 円	2020 年 9 月 30 日から 2022 年 2 月末まで
② 当社の連結子会社である株式会社多摩川エナジーが建設する岐阜県各務原市の太陽光発電所の一部建設費用としての設備投資資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、設備投資 6,294,600 円と運転資金 103,705,400 円に使用	110,000,000 円	2019 年 8 月 29 日から 2020 年 1 月 27 日まで
③ 北海道根室市にて大型風力発電所を建設し売電事業を行うウインドパワード	90,123,720 円	2019 年 11 月 15 日から 2020 年 5 月 25 日まで

具体的な使途	金 額	支出（予定）時期
ットコム株式会社（当社関連会社となります。）の株式及び債権のAURA-Green Energy株式会社からの買取りのための資金及び同社の風況調査代及び系統連系費用のための当社から同社への貸付：同社においては、株式及び債権の買取 45,000,000 円と風況調査代及び系統連系費用 45,123,720 円に使用		
④ 当社の連結子会社である株式会社 GP エナジー2 が保有する、長崎県五島市荒神岳太陽光発電所の約 500kw の増設に係る金融機関にリース料を支払うための資金及び運転資金のための当社から同社への貸付：同社においては、リース料 33,000,000 円と運転資金 50,000,000 円に使用	83,000,000 円	2020 年 1 月 27 日から 2020 年 4 月 27 日まで
合計	659,246,000 円	—

（注）具体的な資金使途の②から④は既に充当済みであります。

3. 今後の見通し

本件変更による当社 2021 年 3 月期連結業績に与える影響はありません。

以 上